



平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「元気な地域の「かたち」創造ワークショップ」
対象地域	岩手県北上市
活動概要	<p><事業テーマ> ~地域コミュニティから提案する持続的に発展する地方都市の「かたち」~ 「元気な地域の「かたち」創造ワークショップ」</p> <p><地域の課題> 対象地域となる北上市は、新幹線、高速道路が通り、多くの工場の誘致がされる一方、周辺部には多くの農村も存在する。そして多くの地方都市と同様、薄く広がる都市機能と、衰退する中心市街地、中山間地区が混在するまちとなっている。特に近年は、郊外ショッピングモールの躍進、県立病院の郊外移転などにより中心市街地の空洞化が目立つ一方、コミュニティバスの縮小や路線バスの縮小等により、特に高齢者への社会サービスの提供が大きな問題となっている。</p> <p>このような市街地の拡散と公共交通の縮小は、自治体財政の圧迫や、中山間部における人口減少、農地減少、あるいは環境負荷の増大につながる事が予想され、集約型都市に向けた取り組みが必要とされている。しかし、中山間部においては、この取り組みにより、地域が取り残されてしまうという心配もでてきており、市全体での集約型都市への意識は低いのが現状である。</p> <p><この事業で達成したいこと> 多くの地方都市で問題になっている市街地の拡散に関して、地域コミュニティの単位で、集約型都市の概念を学び、住民自らが住みやすい地域を考えることにより、地域の望ましいかたちを考え、共有し、各コミュニティ単位での集落維持に必要な交通、教育、医療、福祉などの社会サービスのあり方を検討する。</p> <p>これを各コミュニティで行うことによって、中山間部が取り残されるといったような心配を払しょくし、コミュニティ単位での主体的な集落機能の整備など、「新しい地域のかたち」、「望ましい地域のかたち」を共有、実践する土壌ができると考える。</p> <p>また、各コミュニティでの意見を集約することで市全体の新たな都市形成、社会サービス提供に関しての方向性「新しい市のかたち」を示すことが可能となる。</p>
今年度の主な取組	<p>北上市は16の自治協議会が各地区交流センターを指定管理者として管理委託し、地域コミュニティの核としながら、主体的な地域づくりを進めている。本事業では、北上市および各自治協議会(地区交流センター)との協働において、以下の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地区交流センターでの説明会(各地区1回) 本事業の主旨および、目的、「集約型都市」がなぜ必要かを地区単位で説明し、コンセンサスを得る。 2. 「集約型都市」に関する勉強会と新しい地域のかたちづくりのためのワークショップ開催 (13回)※ワークショップ開催希望地区での実施 「集約型都市」の概念についての勉強会を実施するとともに、各地区が考える「望ましい地域のかたち」をワークショップ形式により検討を行う。 3. 中間報告会(1回) ワークショップの結果を、市民全体に発表し、地域住民が考えた「望ましい地域のかたち」について共有をする。 4. 新しい地域のかたちづくりのための有識者会議(3回) 学識経験者、NPO、企業、行政など様々な立場の有識者を集め、各ワークショップで得られた成果をもとに、市全体を考えた集約型・広域的共助型の新しい地域のかたちを検討し、まとめる。 5. 全国発信のためのフォーラム(1回) 今回のワークショップと有識者会議で得られた成果である、住民主導型の「新しい地域のかたち」を地域で共有するとともに、広く全国へ発信するためのフォーラムを開催する。 6. 報告書の作成 本事業における成果までのプロセスと新しい地域のかたちの方向性をまとめた報告書を作成し、県内市町村及び全国各県配布する。

活動結果	<p>本事業の各地区のワークショップでは、特に交通弱者といわれる人たちの立場でまちづくりを考え、既存の生活拠点機能の集まる区域に集まって住む、またはその区域を利用するための地域内交通の必要性が共有された。つまり、それぞれの地区も集約型である方が暮らしやすいという結果が示された。この結果は、農村部においてもコンパクトシティの必要性の理解につながった。</p>
当初予想していなかった効果	<p>今回の元気な地域のかたち創造ワークショップでは、地域内、地域内外への交通手段に関しても、点検・検討を行った。その結果、各地域において公共交通を考える機会となり、特定の地区での過疎地有償運送の試験的な実施と本格実施に向けた取り組みを進めるきっかけとなった。</p> <p>また、その他の多くの地区においても公共交通を考えたいという要望が届いており、今回のあじさい型集約都市の1つの柱となる地域内交通および各コミュニティと中心市街地を結ぶ交通機能を今後、さらに深めていく必要があると考えるなど、地域における公共交通に対する意識の萌芽が生まれている。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真・左】ワークショップ(班別の検討状況)</p> <p>【写真・右】ワークショップ(生活拠点機能を整理した地図を作成)</p>
応募団体名	特定非営利活動法人 いわてNPO-NETサポート
リンク	-
部局/担当者名	同法人 理事・事務局次長 菊池 広人
連絡先	TEL:0197-61-5035
	E-mailアドレス:hiroto@kitakamicity.com
推薦市町村名	北上市